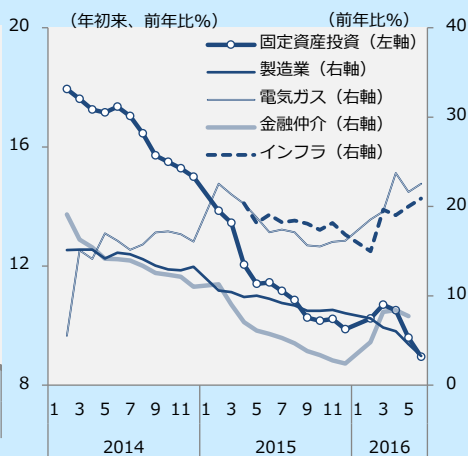
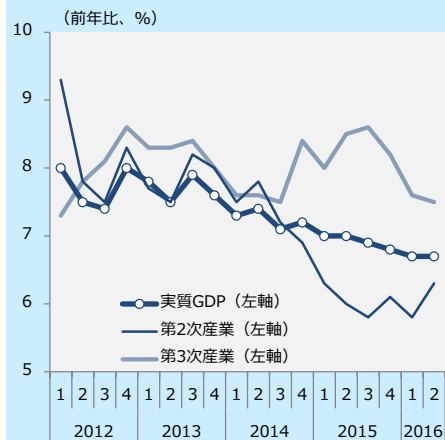


中国：GDP(2016年4-6月期)と6月の経済指標 *MRI Daily Economic Points* —投資がさらに減速も、消費は好調を維持— *July 19, 2016*

実質GDP

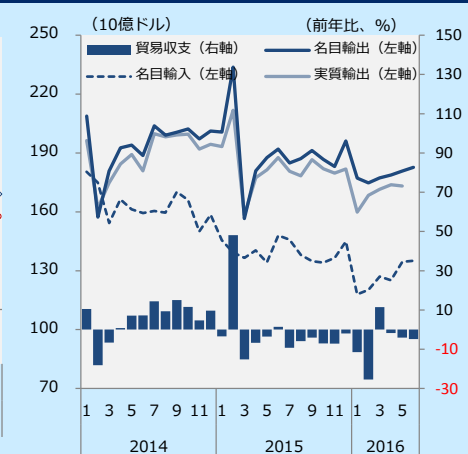
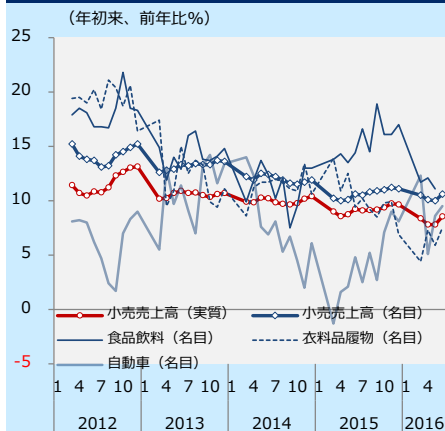
投資



資料：Bloombergより三菱総合研究所作成

消費

貿易



資料：Bloombergより三菱総合研究所作成

評価ポイント

今回の結果

- 中国国家統計局によると、中国の16年4-6月期実質GDPは、前年比+6.7%と1-3月期から成長率は横ばいとなった。内訳をみると、第3次産業は同+7.5%と前期(同+7.6%)から伸びがやや鈍化したものの、第2次産業が同+6.3%と前期(同+5.8%)から伸びが加速した。第2次産業の成長率の上昇には、後述の自動車生産の増加などが寄与した可能性がある。
- 2016年1-6月累計の固定資産投資は、前年同期比+9.0%と前期(同+9.6%)から伸びが鈍化し、4ヶ月連続で増加幅が縮小した。電気ガスやインフラなど公共部門の投資が出ているものの、製造業で同+3.3%(前期同+4.6%)と伸びが大幅に鈍化するなど、民間投資の減速が続く。
- 一方、1-6月の小売売上高は、前年同期比+10.6%と前期(同+10.0%)から伸びが加速した。自動車の消費は4月に一旦落ち込んだものの、5月以降伸びが加速しているほか、日用品などの消費も堅調。
- 6月の生産も、前年同月比+6.2%と前期(同+6.0%)から伸びがやや上昇した。鉄鋼や石油の生産は落ち込んでいるものの、自動車生産が前年比で10%を超える伸びを続けている。
- 輸出をみると、海外需要の減速を映じて、実質輸出は弱い動きを続けている。

基調判断と今後の流れ

- 中国経済は、民間投資減速を背景に緩やかな鈍化傾向が続いているが、政府のインフラ投資拡大や、消費の高い伸びが成長を下支えしている。
- 鉄鋼や石炭など過剰生産能力の削減は進捗している。しばらくは、過剰生産能力の調整などによる経済への下押し圧力が続くが、政府の景気刺激策が下支えとなり、緩やかな減速にとどまる見込み。